

---

# レストラン

並盛りライス

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

レストラン

### 【Nコード】

N9100A

### 【作者名】

並盛りライス

### 【あらすじ】

世界は不条理で回る。僕達は見ても見ぬフリをしながら生きていくのだけど…。バイト先でこっそり犬を飼っていたのがバレて…。

ボンネットが主張する夏を空から見ている。

まだ夏が終わらないのは僕のせいかもと誰かが言った。

レストラン

夕日が沈む少し前から、僕はタイムカードを押して厨房に入った。

バイトの後輩が背中だけで、おはようございますと言った。

黒い無地のエプロンと、ウェーターの着るような服を身に付けて、安全靴をはいた。

「今日、来るらしいですよ。」

「何が？」

要領を得ない会話に苛立つ。

主語は？

「保健所。」

空調が静かに唸る。

「ヤバいな。」

それでも、何をするわけでもなく、厨房にただ一つあるデジタルの時計が、十から十一に替わるのを見ていた。

「誰のせいでもないっすよ。」

後輩が言う。

「分かってる。」

分かってはいない。

「名前をつけてたら…」

「馬鹿野郎。」

誰も殴った事のない右手が、後輩を殴った。

今日も、夏は終わらない。

「すみません。」

「悪かった。だから…もう言っつな…。」

深夜の客は、意外と多くて。若者達が他愛のない無駄話に精を出している。

不味いレトルトの食事を口に運びながら、何がそんなにオカシイのだろうか。

「バーグ4ライス2コーヒー2チョコパ1」

裏口から静かに、ひきとらていく名前のない子犬達。

一日に、何キロも牛を殺す人間。

それを売る僕達。

初めに子犬を見つけてきたのは、後輩のケンだった。

まだ、産まれたばかりで捨てられていたソイツに、こっそり残飯をやっていた。

客の残した皿は、酷い時にはごみ袋12個ぐらいになる。

皆、知っていたが何も言わなかった。それからしばらくすると、また誰かが、そして知らないウチに犬を拾っていった。

誰もが、貧乏で犬を飼える人間なんて居なかった。

「コーヒーバーグ2」

深夜の客がまた騒いでいる。

いつもはおとなしいケンが今日はイライラしていて、客につっかかった。

「静かにしてください。」

「店員のくせに、文句言っなよ。」

「うるせえよ。金払ってんだろ。」

流石に、不味いので出て行って謝る。

ケンも仕方なく引き下がる。

保健所の職員と話をしたのもケンだった。

「私だって、好きで犬を殺してる訳じゃないんですよ。貴方も、食品を扱っているんだから衛生に気を配るのは当然だと思っつのですが。」

「でも、店で飼うことは出来ないんですか？」

「ここは貴方の店ですか？貴方はただのバイトでしょう。とにかく、明日引き取りにきますので、よろしくお願いしますね。」

コーヒーには手を付けずに、保健所の職員は帰っていった。

ケンは何も言わずに、いつものようにコーヒーをシンクに流した。

時計が二時を指すと、客は減りだした。

「バーグ1」

残飯だけが厨房に戻ってくる。

僕は皿を洗いながら、次のハンバーグを温めている。

ケンは、犬のいなくなった控室を掃除している。

そして、夏が終わる。

誰かの残した残飯だけが、増えていく夜。

ケンは泣いただろうか。

僕は泣かなかった。

夏は終わったのだから。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9100a/>

---

レストラン

2011年1月11日02時51分発行